

告 辞

鹿屋体育大学体育学部卒業生および大学院体育学研究科修了生の皆さん、本日ここに、卒業証書授与式および学位記授与式を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

卒業生および修了生の皆さんは、ご家族の方々をはじめとする、多くの関係者の皆様の慈愛あふれるご支援があったことを、改めて思い起こす必要があります。と同時に、国立大学法人鹿屋体育大学の教職員の皆様のご薫陶の大きさに対して、心からの謝意と敬意を表したいと思います。

さて、2011年にスポーツを通じて国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、そして、スポーツを通じて国際社会の調和ある発展に寄与するための基本的な法律として「スポーツ基本法」が制定されました。2015年にはスポーツに関する施策を総合的に推進していくためにスポーツ庁が誕生しました。それは、スポーツが人間や人間社会に対してさまざまな価値を持つからだと考えます。

スポーツの価値の1つ目は、スポーツを競技することにより、人間は身体的、精神的能力を開発、発展させ、また競い合うことによる追求の喜びや楽しさを享受できることです。スポーツの競技が成立するには、①ルール、②競い合う相手、そして③審判の存在が必要となります。しかし、ただ存在するだけではなく、ルールが参加者にとって公正なものであり、自分と相手が真剣に取り組み、審判が公正にジャッジすることにより、心から楽しめるスポーツの競技になります。

2つ目は、適度な強度、頻度でスポーツ・運動することが、体力の維持・増進に役立つことです。若いときは、運動不足でもそれなりにからだを動かすことはできます。しかし、二十代を過ぎると、年齢とともに筋力や持久力は低下します。そして、からだを動かすことがしだいに億劫になり、家にこもりがちでは人との接触も無くなってしまいうでしょう。

そして、3つ目は、スポーツ大会やスポーツイベントの開催により、地域が活性化することです。現在いろいろな地域でスポーツイベントが企画され、開催されています。ここ鹿児島県でもいぶすき菜の花マラソン大会、鹿児島マラソン大会などが開催され、他県からも多くの参加者が集まり、にぎわっています。このようなスポーツ競技大会では、参加する選手だけでなく、その大会を運営する人たち、そして、その大会を沿道等で応援する人たちが一体となって地域が盛り上がります。

大会の成功には「する、見る、支える」の3つの要素が必要となります。

4年後の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが、そしてここ鹿児

鳥県では国民体育大会が開催されます。日本の代表選手、県の代表選手が活躍することが期待されますが、選手を支えるコーチスタッフたち、大会運営を支える人たち、そして大会を盛り上げ選手の活躍を促す応援者の存在があって、これらのスポーツ競技大会が成功します。スポーツの推進・振興には、施設設備など物的環境が必要です。また、それを準備・運営するための経費も必要でしょう。

しかしながら、最も重要なことは選手、指導者、応援者などの、人的要素だと考えます。本日、卒業および修了される皆さんは、この鹿屋体育大学でスポーツに関する専門的知識や専門的能力を修得されたことにより本学を卒業・修了するわけです。有償、無償にかかわらず、時代に即した倫理観を持って、スポーツ文化を広めるリーダーの役目を、国内外を問わず、今後、担っていただけることを切に希望します。

そして、青春時代をすごされたここ大隅の地を、鹿屋体育大学を第二のふるさとと置いていただき、皆さんがいつでも、何度でも来訪、来学されることをお待ちしております。

これからも、皆さんが心身ともに健康を維持され、社会のリーダーとして活躍されますことを教職員一同、心から祈っております。

最後になりましたが、本日、平成28年度の卒業証書授与式および学位記授与式を挙げるにあたり、ここにご来賓のご臨席を賜るとともに、保護者の皆様方のご参列をいただきましたことを厚く御礼申し上げ、卒業及び修了を祝う告辞といたします。

平成29年3月24日
鹿屋体育大学長
松下 雅雄